

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回宍粟市地域公共交通会議（令和元年度）	
開 催 日 時	令和2年1月27日（月） 14時00分～15時00分	
開 催 場 所	宍粟市役所 4階 402.403 会議室	
委員長・会長 氏名	会長（副市長）中村 司	
委 員 氏 名	（出席者）別紙のとおり	（欠席者）別紙のとおり
事 務 局 氏 名	まちづくり推進部 津村部長 市民協働課 小河課長、福田係長、小倉主査 一宮市民局まちづくり推進課 菟場主査 波賀市民局まちづくり推進課 山下主事 千種市民局まちづくり推進課 中井主査 健康福祉部障害福祉課 平瀬主査	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開	（非公開の理由） —
決 定 事 項	（協議事項） 1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価 ⇒承認 2. 宍粟市地域公共交通再編計画の一部改正 ⇒承認 3. 令和2年度に向けたバス停の新設、移設 ⇒承認	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） 会 長 中 村 司	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局 会 長	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>利用者の数は年々増加しているが、小型バスについては少ない路線がある。ご協力いただき利用促進を図ってきたが、何か違った形での運行を検討する段階にきているのかもしれない。</p>
会 長	<p>3. 報告</p> <p>報告事項について(1)(2)を一括して事務局から説明を。</p>
事務局	<p>(1) 令和元年度路線バスの利用実績について説明。</p> <p>令和元年度は9,325人の増加。増え幅は年々、小さくなる傾向にある。小型バスは1便あたり0.1人を下回る路線がいくつかあり、実際の利用者は1人か2人と思われる現状がある。交通空白地を無くすことを進めてきたが、路線バスとしての定時定路線での運行は難しい状況となってきている。このような路線を利用されている方の移動手段をどのようにして維持していくか、今後も地域の方と協議していきながらこういった形が一番良いのか模索していく時期にきている。</p>
事務局	<p>(2) 危険なバス停に関する通達について説明。</p> <p>全国的な見直しの動きがあることを報告する。</p>
委 員	<p>危険なバス停の補足説明</p> <p>バス停の新設等を認める時には予め道路管理者や公安委員会に確認をした上で認可している。資料5ページ目のような形は理論上は存在しない。ただ、最近の新しいバス停にはないが、例えば昭和の時代など古くからあるバス停では、バス停ができた後に学校や施設ができ、後から横断歩道ができてしまっていることがある。また昔のボンネットバスから比べるとバスの車両事態が大型化している。その結果、交差点に近くなってしまっているような事例はある。一昨年には神奈川県で横断歩道にバスの車体がかかっている状態でバスの後方から横断歩道を渡ろうとした子どもが反対車線からきた車にはねられ亡くなる痛ましい事故が起きた。そこからことを発している。地域や事業者と相談の上でバス停の位置を考えていくが、例えばバス停をずらさないといけない場合があるので調整にご理解をいただきたい。調整できないとなると最悪はバス停を廃止しなくてはいけないので、地域の安全対策ということでご理解とご協力をいただきたい。</p>
会 長	<p>基本的にはあまり無いということか。</p>
委 員	<p>あると思う。特に交差点の近くや、バス停があるから横断したくて横断歩道を設置したという例もある。そうなると横断歩道をずらすのか、バス停をずらすのか、双方を離すと使いにくくなる。</p>
会 長	<p>4. 議事</p>
事務局	<p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について事務局から説明を。</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について説明。</p> <p>評価基準（見直し基準については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市外連絡路線（大型バス）は平均乗車密度2人以上の利用者数

<p>会長 オブザーバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内連絡路線（小型バス）は1便あたり1.5人以上の利用者数目標値の達成状況については、 ・市外連絡路線（大型バス）は、平均乗車密度4.0人で目標を上回った。 ⇒評価A（達成できた） ・市内連絡路線（小型バス）は、全15路線中1路線のみ目標を上回った。 ⇒評価B（達成できていない点があった） <p>事業評価についてご意見はないか。 現状を教えてください。1ページの市内完結路線の10番や12番については目標値を大幅に下回っているが、今後どのように維持していくのか、あり方があれば教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>1便あたりの利用者数が0.1人、0.2人を下回っている路線がいくつかある。まずは利用促進として、地域の方と話し合っていくなかで何か乗っていただくしくみを見出していく。また体験乗車券を利用していただき、まずは乗っていただくなど、それでも乗っていただけない場合は路線バスではなく、何か他の移動手段について協議を進めていきたいと一方では考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>利用者が少ない路線がある一方で、小型バス全体としては利用者数が増えているということは成果だと思う。路線によってはかなり増加しているところもある。説明以外に何か理由はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>利用実績が毎年伸びている路線については特に大きな取組みは行っていない。毎年少しずつ、ダイヤやルート変更などの細かな利用改善の取り組みは続けている。少しずつ利用者のニーズに沿ったダイヤ等の状況になっているのではないかと推測する。</p>
<p>委員</p>	<p>65歳以上の方が増えてきている。車だけでは難しい年齢になってきているために利用者は増えてきているのではないか。そう身近に感じる。</p>
<p>事務局</p>	<p>65歳以上の方で免許返納される方も増えてきている。返納された方にはバスチケットを配付する事業も行っている。その効果もあるのではないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>事業評価について承認いただけるか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>(2) 宍粟市地域公共交通再編計画の一部改正について事務局から説明。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 宍粟市地域公共交通再編計画の一部改正について説明。</p>
<p>会長</p>	<p>内容については、12.再編3年経過後の路線見直しの考え方の追加。平成31年1月の地域公共交通会議に諮り承認いただいたが、後々の計画に残していくためには大元の再編計画に盛り込んでおく方が良いと判断し、今回議案に上げさせていただいた。</p>
<p>委員</p>	<p>ご意見、ご質問はないか。</p>
<p>会長</p>	<p>異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>(3) 令和2年度に向けたバス停の新設、移設について事務局から説明。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 令和2年度に向けたバス停の新設、移設について説明。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 戸原線のバス停新設、移設、ルート変更。 2 土万線のバス停移設。 3 一宮市民協働センターへの乗り入れ（乗入れ開始：令和2年4月20日） <ul style="list-style-type: none"> ・大型バスは、9時から16時の間の便 ・小型バスは、全ての便を乗り入れることで調整を進めている。

会 長	ご意見等ないか。
委 員	市民協働センターへの乗り入れは4月20日から、他の変更については。
事務局	他の変更については4月1日からとなる。
会 長	自治会等の要望による変更か。
事務局	自治会に照会をかけ、利用改善に繋がる提案を、地域の方の意見を吸い上げていただいた上での提案となる。
委 員	異議なし。
会 長	5. その他
委 員	バス事業全体で乗務員が不足し、事業者も非常に困っている。各事業者も求人情報を流しているがバス協会としても広報していきたい。都市部では増便したくても乗務員が足りず、できない状況にある。地方部では乗務員が少なく、減便や休止、最悪は廃止といった状況にも陥る。乗務員確保をPRしていきたい。大型2種免許の取得についても事業者の支援制度を設けているところもある。広くPRをお願いしたい。
事務局	各委員から情報提供等あればお願いしたい。
委 員	ウエスト神姫にお伺いしたい。大型バス路線の要望はあったか。
委 員	市を通じて要望がある場合は一緒に検討している。
委 員	この場を借りてウエスト神姫さんをお願いしたい。山崎～エーガイヤ線については目標2.0人のところ、4.0人で目標を達成しているとなっているが、土日の午前の運行は0便、午後が2便となっている。土日の部活や補講で学校へ通いたい子どもたちはたくさんいる。13ページの一部改正には、一人でも多くの利用につなげ、かつ公平なサービスの提供とあるが、伊和高校や山崎高校の生徒は土日でもバスを利用できる状況のなかで、千種高校に通う子どもたちはバスが運行されていなということは公平性にかけてと思う。どうか皆木止のバスをエーガイヤへ延ばしていただけるようお願いしたい。
委 員	平日と比較すると、土日は削減ダイヤとなっている。今の便を延ばすためには乗務員が1名必要になったり、車両が1台必要になったりと、経費等も必要になってくる。この場では要望としてお伺いしておく。
副会長	6. 閉会 私たちも一地域住民としてバスを利用することでPRしていき、この事業が継続していくようにしていきたい。